

25 広島大学附属・高等学校講堂 (旧制広島高等学校講堂)



様式建築の香りを感じて
旧制広島高等学校の講堂として、昭和2年に完成。戦後、広島大学に包括されて皆実分校となり、講堂では教養部の講義も行われていました。ロマネスク復古様式を取り入れており、2階まで通じたバットレス状の外壁、正面入口のアーチ状の扉、円柱および階段の手摺りは濃淡のついた灰漆喰で石材のような質感をつくりあげています。

建物見学会

日程 11/12(日) ①10:00~②11:00 定員 各回15人
料金 無料 集合場所 講堂正面(正門入ってすぐ)
申込 フェスタ事務局ホームページからお申込みください
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/tatemonogatari/festa2017.html
主催 国土交通省中国地方整備局営繕部、
「公共建築の日及び公共建築月間」中国地方実行委員会
+DATA
竣工:1927年 設計/施工者:文部省営繕課/不詳 住所:広島市南区翠1-1-1
※参考文献「被爆50周年 未来への記録 ヒロシマの被爆建物は語る」発行 広島平和記念資料館 1996年3月31日



26 不動院



広島市内唯一の国宝建築
不動院は広島を代表する古刹の一つで、特に山口から移築されたといわれる金堂は広島市内唯一の国宝建築であり、京都や鎌倉の禅宗様建築と肩を並べる名品です。見学会では、専門家が禅宗様建築の設計思想や鑑賞法をうかがいながら、通常非公開の金堂などを特別に見学します。

建物見学会

日程 11/12(日) 10:00~11:30 定員 30人 料金 600円
集合場所 金堂前 申込 下記WEBページからお申込みください
問合せ先 アークワーク広島 http://www.aa-hiroshima.org
+DATA
竣工:金堂1540年、楼門1594年、鐘楼1433年 設計:不詳
住所:広島市東区牛田新町3-4-9



27 広島市立矢野南小学校



子供をやさしく育む建築
郊外の住宅団地のただなかに建つ小学校。周辺の地形と呼応する平面計画や屋上緑化のほか、教室から外に出やすくする工夫や、ドア・手すり・机を木製にするなど、子供への細かな配慮もあり、魅力的で見どころがいっぱいの建物です。見学会では解説とともに校内を案内します。

建物見学会

日程 11/12(日) 10:30~11:30 定員 20人 料金 無料 集合場所 正門前
申込 電話またはメールでお申込ください ※10/27(金)までにお名前、住所、電話番号をお知らせください
主催/問合せ先 広島市都市整備局営繕課 ☎082-504-2730
eizen@city.hiroshima.lg.jp
+DATA
竣工:1998年 設計:(株)象設計集団(富田玲子)
住所:広島市安芸区矢野南4-17-1



28 イエズス会長東修道院



和風で彩られた修道院
キリスト教の修道院(当初は練修院)でありながら、聖堂は畳敷きで、三重塔のような鐘楼が載る近代和風建築という、とてもユニークなデザインの建物を特別に見学します。ガイドや施設関係者のお話とともに、被爆時のことなど、建物に込められた物語や思いを読み解きます。

建物見学会

※祈りの場にふさわしい服装でお越しください。
日程 11/12(日) 13:30~14:30 定員 20人 料金 400円 集合場所 建物前
申込 下記WEBページからお申込みください
問合せ先 アークワーク広島 http://www.aa-hiroshima.org
+DATA
竣工:1938年 設計:不詳 住所:広島市安佐南区長東西2-1-36



29 ひろしま美術館



広島の世界遺産2つをイメージ
緑に囲まれた広島市中央公園の一角にある美術館。中央の本館は原爆ドームを、その本館をぐるりと囲む回廊は厳島神社を模しています。モネやゴッホといったフランス近代美術コレクションを常設展示する本館は、ホール中央に立てば、4室のどこでも好きなところへ直接行けるよう円形に造られています。

※会期中は無休
①佐々木キ見本帖展 9/9(土)~10/22(日)
②ウラム展 11/3(金・祝)~12/24(日)
時間 9:00~17:00(上記特別展中の金曜日は19:00迄) ※最終入館は閉館の30分前迄
料金 ①一般1200円、高大生900円、小中生500円
②一般1300円、高大生1000円、小中生600円
※団体(20名以上)の場合、上記より200円引きの料金となります。
※①②の特別展と常設コレクション展示(フランス近代美術)は共通のチケットとなります。
撮影 外観のみ可(館内は不可)
主催/問合せ先 公益財団法人ひろしま美術館 ☎082-223-2530
※通常月曜休館日(祝日の場合は翌平日)



+DATA
竣工:1978年 設計:日建設計 住所:広島市中区基町 3-2

30 広島市環境局中工場



ごみ処理場がアートな世界に
焼却関連設備を美術品のように美しく見せることで、ごみ処理場の見学ルートをアート作品に昇華させています。ガラス窓や手すり等の細部も丁寧にデザインされており、ガラス通路や展望デッキなどシンプルな空間づくりへのこだわりがうかがえます。

通常公開
時間 9:00~16:30 場所 2階コリアム(中央ガラス通路)、南側緑地帯の見学
料金 無料 申込 不要(自由見学)
問合せ先 環境局 施設部 中工場 ☎082-249-8517
+DATA
竣工:2004年 設計:谷口建築設計研究所(谷口吉生)
住所:広島市中区南吉島 1-5-1



31 平和記念公園レストハウス(旧大正屋呉服店)



地下室は被爆当時を保存
観光案内所として使われているこの建物、もとは繁華街の目抜き通り沿いに呉服店として建てられ、コンクリートのモダンな姿は目を引く存在でした。地下室は被爆当時の姿で保存されていて、窓口で受付をすれば見学ができます。

通常公開 **地下室見学**
時間 8:30~17:00 料金 無料
申込 レストハウス窓口で申込用紙にご記入の上、ご見学ください
問合せ先 平和記念公園レストハウス観光案内所 ☎082-247-6738
+DATA
竣工:1929年 設計:増田清 住所:広島市中区中島町1-1



34 広島市立袋町小学校平和資料館



横長の窓が特徴のモダン校舎
横長・縦長の窓が組み合わされ、連続した庇が特徴の、当時最先端のモダンデザイン。設備面でも当時の広島では先進的な校舎でした。大部分は解体されましたが一部が資料館に改装され、炭化した木れんがや、被爆後に伝言が書かれた壁なども保存されています。

通常公開
時間 9:00~17:00
料金 無料
申込 不要
+DATA
竣工:1937年 設計:広島市建設局営繕課(当時)
住所:広島市中区袋町6-36



32 アストラムライン新白島駅



大きなシェルが地下を明るく包む
JR山陽本線と交差するアストラムラインの駅舎。地下ホームへと伸びる動線にシェル構造の大屋根で覆うシンプルな構成で、各所にアクセントとなる丸窓が開けられ、地下とは思えない明るく開放感のある空間となっています。

通常公開
※新白島駅連絡通路や、アストラムライン新白島駅改札外は見学可能です。
※見学時は、駅利用客の方の妨げにならないよう、マナーを守ってお楽しみください。
※掲載している写真は、改札内にて撮影したものであり、改札内に入場するには、入場料が必要です。
+DATA
竣工:2015年
設計:小嶋一浩+赤松佳珠子/CAI、パシフィックコンサルタンツ
住所:広島市中区西白島町



33 旧日本銀行広島支店



往時の広島を語る様式建築
外観はルネサンス風で左右対称。柱頭裝飾、軒蛇腹、メダリオンなど、西洋の様式に基づく裝飾は見ごたえ十分です。内装や金庫室の扉なども当時のものが残されています。広島に残されたほぼ最後の歴史主義建築であり、至近距離で被爆しながらも往時の姿をとどめています。

通常公開
時間 10:00~17:00
料金 無料
申込 不要
+DATA
竣工:1936年 設計:日本銀行臨時建築部・長野宇平治
住所:広島市中区袋町5-21



広島を特徴づける復興期モダニズム建築

鉄・ガラス・コンクリートなどを多用し、機能性・合理性を重視したシンプルな造形が特徴の建築スタイルをモダニズムと呼びます。戦災により大多数の建物を失った広島では、復興にあたって整然としたモダン都市への変化が目指され、モダン都市にふさわしい建築として、明るく開放的で民主主義を感じさせるモダニズム建築が選ばれました。広島の復興期モダニズム建築の多くは、建築家ル・コルビュジェが提示したスタイルに沿ったデザインとなっており、ピロティ(1階の吹きさらし)や水平連続窓などが特徴的です。広島市内には、たてものがたりフェスタで紹介する以外にも多くの復興期モダニズム建築が残っていますが、老朽化などにより徐々にその数を減らしつつあります。

該当する建物(※ここでは戦災復興期を1950~1978年と設定しています。)

- 09 広島県庁舎
- 11 広島市宮基町高層アパート
- 14 広島平和記念資料館